

『学び創造アクティブプラン』 学力向上推進事業

平成29年度～平成31年度

求められる「学力」とは？

変化の激しい社会を生き抜く子供たちには、「たくましく生き抜く力」の育成が求められます。そのため、今、子供たちに必要な「学力」とは、

- ①学びの土台となる基礎的・基本的な「知識・技能」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
- ③学びを人生や社会の中で生かそうとする「主体的に学ぶ態度」

の三つの要素であると考えます。

平成29年度からスタートする『学び創造アクティブプラン』は、今までの事業を発展・深化することをめざします。ここでの『アクティブ』には、「主体的・能動的な」という意味を込めています。

学校では、児童生徒が主体的に学び、「わかる喜び」を味わえる授業をめざします

☺ 主体的・対話的で深い学びの授業を
多様な学習活動

思考ツールの活用

NEW



☺ 学んだことが定着するように、学習を振り返り

☺ タブレットの導入 | ICTの積極的な活用



家庭では、生活習慣を見直し、家庭学習の習慣化・家読の推進をめざします

☺ 「早寝・早起き・朝ごはん」「ノーメディアチャレンジ」家庭でのルールを
毎月23日の家読（うちどく）の日には、親子・家族で読書を

地域では、「思考力・判断力・表現力」を育成する体験活動の充実を図ります

☺ 「あいさつ」から関係を作り、「地域行事」への積極的な参加を

☺ 生涯スポーツの推進を

☺ 幼・保・こども園との連携を

